

三重県農泊推進セミナー 津市榊原地域

「農山漁村滞在型旅行」を基礎から学ぶ - 農泊による地域づくりのインパクト -

「農泊」とは、日本ならではの伝統的な生活体験や農山漁村地域の人々との交流を楽しむ、「農山漁村滞在型旅行」のことです。県では、インバウンドを含め観光としてのニーズが高まっている「農泊」について、多くの人の関心を持っていただきたいと考え、農泊推進セミナーを開催します。ぜひ皆様のご参加をお待ちしております。

【日時】 令和2年3月10日(火) 19:30~21:00

【場所】 まろき湯の宿 湯元 榊原館 大宝の間 (三重県津市榊原町 5970)

【内容】

| | |
|--|-------------|
| 1. 開催のあいさつ・三重県内の農泊推進の状況 三重県 農林水産部 農山漁村づくり課 | 19:30~19:40 |
| 2. 基調講演 「「農山漁村滞在型旅行」を基礎から学ぶ-農泊による地域づくりのインパクト-」 講師:大野 彰則氏(一般社団法人日本ファームステイ協会 事務局長) | 19:40~20:20 |
| 3. 事例報告 「地域資源を生かした農泊推進と地域に与える効果」 報告者:飯干 淳志氏(株式会社 高千穂ムラたび 代表取締役) | 20:20~20:50 |
| 4. 質疑応答・意見交換 | 20:50~20:55 |
| 5. 津市榊原地域の今後に向けて 津市 久居総合支所 地域振興課 | 20:55~21:00 |

〈講師・コーディネーター・パネリストの紹介〉

講師

大野 彰則(おおの あきのり)氏(一般社団法人日本ファームステイ協会 事務局長、株式会社百戦錬磨 事業戦略室)



日本初の農山漁家民宿予約サイト「とまりな」をプロジェクトマネージャーとして推進し、グリーン・ツーリズム、農泊サービス開発に従事。その後、農山漁業体験民宿登録実施機関の事務局を担当。2016年の特区民泊運用開始に伴い、制度分析、運用業務設計を手掛け、以降、OTA、民泊、農泊の知見を以て、農泊を推進する自治体、地域協議会における農泊プロジェクトをサポートしている。

事例報告者

飯干 淳志(いいほし あつし)氏(株式会社 高千穂ムラたび 代表取締役、高千穂ムラたび協議会(宮崎県高千穂町)会長、(社)高千穂町観光協会 理事、九州ツーリズムコンソーシアム「ムラたび九州」 副会長)



54歳で、高千穂町役場を早期退職し、「持続可能なムラづくり」に取り組む。住民と共同して、地域連携型の多角的な農村ビジネスを起業。「世界とつながる」農村観光や加工品製造など、今までの辺境農村にはなかったクリエイティブな事業が成長。欧米系の外国人誘客も動きだし、事業ビジョンに共感する様々なキャリアを持った若者達が集まってきている。

【主催】三重県 【協力】榊原の地域振興を考える会

【申込み方法】

三重県電子申請・届出システムを使用した申込みか下記に必要事項を記入の上、FAX、E-Mail、郵送でお申してください。

お電話でも受け付けております。

申込期限：令和2年3月3日(火)17時まで

(FAX:059-224-3153)

| ご所属団体名 (又は市町名) | お名前 | 連絡が取れる連絡先 電話番号(又はE-Mail) |
|-------------------|--------------|-----------------------------|
| (例) 〇〇旅館 | (例) 三重 花子 | (例) 〇〇〇-△△-□□□□ |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |

【お申込み・お問合せ先】

〒514-8570 三重県津市広明町13番地

三重県農林水産部 農山漁村づくり課

農山漁村活性化班 担当：山口、平尾

TEL:059-224-2518、FAX:059-224-3153

E-mail:nozukuri@pref.mie.lg.jp



三重県電子
申請・届出システム